

1ヶ月かんたんに



お話し
大分大学保健管理センター
工藤 欣邦 教授

学生定期健康診断は必ず受けましょう

保健管理センターでは毎年4～5月に学生定期健康診断（以下健診）を実施していますが、旦野原キャンパスの学部2～3年の受診率が低いことが大きな課題となっていました。平成28年度は啓発活動を強化したことや教職員の皆様にご尽力いただいたおかげで、2015年度までと比較して受診率がかなり改善し（2015年度84.3%→2016年度93.1%）、旦野原キャンパスの学生の健診受診者が初めて4000人を上回りました。しかし、健診は「学校保健安全法」という法律に基づいて実施しており、受診率は本来100%でなければなりません。

健診の目的



健診の目的は、病気の早期発見と健康の維持増進です。大学生は年代的に身体健康面において問題が起こる可能性が少ない時期であるため、健康に対する関心が薄れがちです。しかし、環境の変化により生活リズムや食生活が乱れがちになる年代でもあり、今から予防しなければならない病気がたくさんあります。自覚症状がないまま徐々に進行していく生活習慣病（高血圧症・糖尿病・脂質異常症・肥満など）がその代表格です。また腎臓病も初期には症状が全くありませんが、多くの場合、尿検査で発見されます。すなわち、健康であるかどうかは自覚症状だけでは判断できないということです。また、何か体調に異変が

生じた場合、医師や保健師が健常時の身体状況を把握しておくことは、病気を診断する上で重要です。

胸部レントゲン検査は、結核の早期発見につながります。「自分には関係ない」と思っている学生さんも多いかもしれませんが、結核は過去の病気ではありません。日本は先進国であるにも関わらず、結核の「低蔓延国」ではなく「中蔓延国」です。もし結核の診断が遅れると、長期間の治療や最悪の場合、生命の危険にさらされてしまうだけでなく、学内に感染を拡大させてしまう可能性があります。それを防ぐためには、胸部レントゲン検査で早期に発見しなければなりません。また、胸部レントゲン検査にて気胸（肺を覆う胸膜が破れ、肺が縮んでしまう病気。直ちに治療を要する）が、毎年のように見つかっています。



保健管理センターにて健診を受けることによって得られるメリット

メリット 1

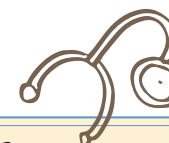
保健管理センターでは、健診にて異常が見つかった場合、無料で医師による2次健診を受けることができます。2次健診では家庭用血圧計の貸し出しや医師による超音波検査、検尿の再検査、心電図、必要に応じて適切な医療機関への紹介（紹介状作成）を行っています。

メリット 2

就職活動・実習・留学・スポーツ競技参加などでは多くの場合、健康診断証明書を求められます。大学の健診を受診していれば大学内にて無料で何通でも健康診断証明書を発行できます。しかし、健診を受けていなければ外部の医療機関を受診しなければなりません。医療機関での健康診断には健康保険は適用されず、料金は全額自己負担となります。

メリット 3

健診時にはメンタルの相談も受け付けています。また必要に応じて禁煙教育も行っています。



健診に関する基礎知識と受診との関連について

2016年春、旦野原キャンパスの学部生を対象に健診に関する無記名のアンケート調査を行いました。2年生以上の学部生2721名中、毎年健診を受けている学生は2301名、健診未受診歴のある学生は420名でした。健診未受診歴のある学生は、健診に関する5項目の基礎知識（表1）すべてにおいて、毎年受診している学生と比較して「知っていた」と回答した割合が有意に低いことがわかりました（表2）。健診を受けなかった理由と

しては「忙しかったから」または「面倒だから」と回答した学生が半数以上を占めました（図1）。

今回の調査で、健診未受診歴のある学生は、毎年受診している学生と比較して健診に対する理解度が低いことから、受診率を向上させるための対策のひとつとして、2年生以上の学部生に対する教育啓発活動の強化が重要であると考えられました。

表1 アンケートにおける質問項目

- 問1 自覚症状がなくても健康診断により病気が見つかる可能性があることを知っていましたか？
- 問2 学生定期健康診断による胸部レントゲンは「結核の早期発見」という重要な目的があることを知っていましたか？
- 問3 日本は先進国であるにも関わらず、結核は「過去の病気」ではなく、「高蔓延国」「中蔓延国」「低蔓延国」の分類で「中蔓延国」にあたることを知っていましたか？
- 問4 学生定期健康診断では身長・体重・血圧測定などがあります。これらは「肥満症」「高血圧症」などの「生活習慣病」の早期発見につながることを知っていましたか？
- 問5 尿検査により、初期には症状が出にくい「腎臓病」の早期発見につながることを知っていましたか？

表2 アンケートの質問に対し「知っていた」と回答した学生の割合

毎年受診 (n=2301)		未受診歴あり (n=420)	
問1	75.3%	問1	69.0% *
問2	49.0%	問2	41.2% *
問3	23.9%	問3	22.4%
問4	70.7%	問4	59.3% *
問5	55.7%	問5	44.5% *

* p<0.05

図1 健康診断未受診歴のある学生の「受診しなかった理由」

